

テーマ名称		担任者氏名
日本語名称	人間の安全保障	利根川 佳子
英語名称	Human security	

	ゼミナールⅠ	ゼミナールⅡ・Ⅲ
授業概要	<p>国連開発計画（1994）によると、人間の安全保障とは、以下の大きく二つの観点から構成される考え方である。一つ目の観点は、「飢餓・病気・抑圧等の恒常的な脅威からの脱却」（欠乏からの自由）、二つ目の観点は「日常生活から突然断絶されることからの保護」（恐怖からの自由）である（UNDP、1994『人間開発報告書』）。本ゼミナールでは、前者の観点に基づき、国際開発や国際協力に焦点を置く。</p> <p>また、特にエンパワメントの考え方に関わる、開発途上国における教育を中心とする国際教育開発についても議論する。2015年に合意された持続可能な開発目標（Sustainable Development Goals: SDGs）の内、4番目の目標として教育目標 SDG4 は設定されている。知識・スキルの獲得や人材育成の観点から、実際には17の全ての目標に教育の要素が関わっているともいわれている。つまり、教育は、様々な分野に対して影響力を持つ領域横断的な分野であり、国際協力の中で重要な役割を担っているといえる。</p> <p>ゼミナールⅠでは、国際開発や国際教育開発に関連する理論を文献（英語文献も含む）の輪読や議論を通じて理解し、知識の修得に努める。</p>	<p>ゼミナールⅠに続き、本ゼミナールでは、国際開発、国際協力、そして、開発途上国における教育を中心とする、国際教育開発について議論する。</p> <p>ゼミナールⅡの春学期では、引き続き文献（英語文献を含む）の輪読を行う。秋学期では、各自が開発途上国における事例を選択し、発表、議論を行う。また、卒業論文テーマを考えはじめ、関連する文献のレビューを始める。</p> <p>ゼミナールⅢの春学期は、卒業論文テーマに関連する文献のレビューをさらに進め、受講生が自身の研究テーマに関する論文を自ら選び、批判的にレビューした成果を発表・議論する。同時に、卒業論文計画書を完成させる。秋学期に卒業論文を完成させ、ゼミ内で発表を行う。</p>

授業の到達目標	国際開発及び国際教育開発に関連する理論を文献の輪読や議論を通じて理解し、知識を深める。ゼミナールⅡ・Ⅲに向けた準備を行う。	ゼミナールⅡ：理論に関する文献から事例を含む文献を輪読し、より具体的な観点をもって、国際教育開発を考える。卒業論文執筆のための準備を行う。 ゼミナールⅢ：卒業論文のテーマを定め、文献精査を行い、最終的に卒業論文を完成させる。
教科書・参考文献	<ul style="list-style-type: none"> ・黒田一雄・横関佑見子編（2005）『国際教育開発論』有斐閣. ・小松太郎編（2016）『途上国世界の教育と開発』上智大学出版. ・西川潤編(1998)『社会開発』、有斐閣選書. ・Sen, A. (1999). Development as Freedom. New York: Random House. ・United Nations Development Program (UNDP). (1990-2014). Human Development Report. New york: UNDP. ・UNESCO. (2002-2018). Education For All Global Monitoring Report. Paris: UNESCO. 	<ul style="list-style-type: none"> ・江原裕美編（2002）『開発と教育』新評論. ・小川啓一、西村幹子、北村友人編（2008）『国際教育開発の再検討』東信堂. ・フレイレ・パウロ（三砂ちづる訳）（2010）『被抑圧者の教育学』亜紀書房. ・World Bank (1995). Development in Practice: Priorities and Strategies for Education: A World Bank Review, Washington, D. C. : World Bank.
成績評価方法 (評価基準・割合)	レポート：20% ゼミナールで学んだ知識の確認を行う。毎回のゼミでのレビューペーパーも含む。 平常点評価：80% プレゼンテーション、レジュメ内容、チームワークなど総合的に評価する。	レポート：40% 各年次ゼミナールに応じて、研究計画書、または卒業論文を評価する。 平常点評価:60% プレゼンテーション、ディスカッション、レジュメ内容などゼミナールでの活動を総合的に評価する。
備考・関連URL等	分野の性質上、英語文献を多く扱う。 国際開発の現場を学ぶための、NGO や国際機関等でのボランティアやインターンシップ、開発途上国における海外研修などへの参加を奨励する。 サハラ以南アフリカ地域に関心のある学生も歓迎する。	分野の性質上、英語文献を多く扱う。 国際開発の現場を学ぶための、NGO や国際機関などでのボランティアやインターンシップ、開発途上国における海外研修などへの参加を奨励する。 サハラ以南アフリカ地域に関心のある学生も歓迎する。